

やぶき



令和6年
202号

令和6年2月1日発行
第440回 12月定例会

議会だより



- 議長 年頭あいさつ p 2
- 12月定例会・補正予算 p 3
- 賛否表・町政を問う p 6
- 一般質問（8名登壇） p 7
- 子ども議会・研修 p15
- 二十歳を祝う集い・編集後記 p16

消防団出初め式

～災害に備え、命を守る～

迎

春



新年明けましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

しかし、今年はその年、色々な面で奮い立つ年だそうですが、元日から能登地方に地震が起こり震災による被災者の方々には、心より御見舞い申し上げます。

昨年中は、矢吹町議会に対し深いご理解とご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスも2類から5類となり、平常に生活が出来るようになったものもまだマスクの取れない日が続いております。我が町は色々な面でコロナ禍前の矢吹町に、それ以上に戻りつつあります。

昨年は中畑清旗ソフトボール大会四十回記念大会に世界の王貞治氏が来町して大会を盛り上げていただきました。矢吹町にとって明るい話題でありました。フロンティア祭りも好天に恵まれ、中でも名誉町民の中畑清さんとPR大使の歌手津吹みゆさんとのトークショーが行われるなど、大変な賑わいでした。県南地方防災訓練も十年ぶりに行われ、町民の皆様が安心、安全を再確認できた訓練ではなかったかと思えます。又、民間企業の調査ではありますが、「街の幸福度ランキング」で県内市町村の部で我が町が第一位で本宮市やいわき市の上位にランキングされるなど住み良い町になってきました。スポーツの

町矢吹は、野球、ソフトボール、市町村駅伝など県内に「矢吹あり」と町民の皆様が頑張っていたいており、「スポーツ健康まちづくり優良自治体」として矢吹町の取り組みがスポーツ庁の室伏広治長官より県内の自治体で初めて表彰されるなど、すばらしい一年でありました。又、昨年の十二月二十四日には蛭田町長が再選し、一月十一日より二期目がスタートしました。これまで以上の年になりますようお願いしております。

最後に町民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

矢吹町議会議長

角田 秀明



第440回 令和5年 12月定例会

定例会のあらまし

第440回12月定例会は、12月1日から12月11日までの11日間の会期で開催されました。

町長より提出された令和5年度一般会計補正予算・条例の改正・指定管理者の指定など議案16件について審議しました。

4日から一般質問が行われ、8名の議員が登壇し町政を質しました。

さらに、総務教育・産業民生の両常任委員会及び第一・第二予算特別委員会に議案が付託され、関係各課の説明を受け審査しました。

11日の本会議において各委員長から審査結果が報告された後に審議した結果、議案第37号、第38号、第39号の指定管理者に関する3議案は採決の結果賛成多数、他の議案は全議員異議なく可決されました。

令和5年度 12月補正予算

議案第40号 令和5年度矢吹町一般会計補正予算（第4号）

○一般会計補正額 2億3,736万円 ◎予算総額 86億1,270万円

主な補正財源（歳入）

・分担金及び負担金	671万円
・国庫支出金	3,201万円
・県支出金	2,202万円
・寄附金	760万円
・繰入金	1億6,957万円
・諸収入	△342万円
（自主事業売上収入	△480万円）
・町債	10万円

主な使いみち（歳出）

・防犯カメラ設置工事、庁舎管理	670万円
・住民基本台帳システム改修等	1,038万円
・障がい者自立支援給付	5,714万円
・子ども医療費助成事業	1,018万円
・ワクチン令和4年度国庫返還金	3,667万円
・町道維持整備工事等	1,256万円
・公共施設等管理燃料光熱費等	2,536万円
・文化センター管理運営委託料	△1,801万円

その他の補正予算

（単位：千円）

会計区分	補正額	補正後の額
議案第41号 国民健康保険特別会計（第1号）	△314	1,668,500
議案第42号 介護保険特別会計（第1号）	32,854	1,653,646
議案第43号 後期高齢者医療特別会計（第1号）	2,649	200,904

（単位：千円）

会計区分		補正額	補正後の額
議案第44号 水道事業会計（第1号）	収益的	収入	0
		支出	7,380
	資本的	収入	0
		支出	0
議案第45号 下水道事業会計（第2号）	収益的	収入	△6,540
		支出	△4,065
	資本的	収入	72
		支出	14,500

総務教育
常任委員会

◎芳賀慎也○鈴木浩一

高久美秋 三村正一

鈴木隆司 熊田 宏

角田秀明

議案第35号 矢吹町国民健康保険条例の一部を改正する条例

手続き等に関する条例第4条の規定に基づく、指定管理者の指定
主な質疑
鈴木隆 今回の公募にて他に誰も居なかったとのことだが、施設を運営するにあたり専門的な資格等は必要なのか。

答 正式な資格は必要ありません。但し、指定管理者独自の施設に関する遊具のレクチャー、遊び方や指導

「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」等において、出産をする方の国民健康保険税の軽減制度に係る改正の施行に伴う関係条例の一部改正

主な質疑

角田 国民健康保険の該当者数は。

答 令和4年度の国保加入者数は3626名です。

議案第39号 矢吹町屋内外運動場の指定管理者の指定について

矢吹町公の施設に係る指定管理者の指定の

主な質疑

鈴木隆 今回公募にて他に誰も居なかったとのことだが、施設を運営するにあたり専門的な資格等は必要なのか。

答 正式な資格は必要ありません。但し、指定管理者独自の施設に関する遊具のレクチャー、遊び方や指導

「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」等において、出産をする方の国民健康保険税の軽減制度に係る改正の施行に伴う関係条例の一部改正

主な質疑

角田 国民健康保険の該当者数は。

答 令和4年度の国保加入者数は3626名です。

議案第39号 矢吹町屋内外運動場の指定管理者の指定について

矢吹町公の施設に係る指定管理者の指定の

答 現在は事前に登録した団体のみに貸出している状況であるが、今後、個人の方でも使えるようなシステム作り、利用者増に繋がるよう検討を進めております。

審査の結果

全議案異議なく原案の通り可決すべきものと決しました。

産業民生
常任委員会

◎堀井成人○藤井源喜

関根貴将 安井敬博

加藤宏樹 青山英樹

富永創造

議案第36号 矢吹町道路線の認定について

道路法第8条第2項の規定により矢吹町道路線の認定

主な質疑

藤井 町道に認定されることで、道路の管理

上、何が変わるのか。

答 これから先、路面の破損時や災害発生時

に、町で早急な対応が可能になる。また、交付税措置が受けられま

す。

議案第37号 矢吹町健康センターの指定管理者の指定の一部変更について

令和6年3月末をもって指定管理期間が満了することから次期指定管理者の選定を行うところでありま

す。

が、あゆり温泉敷地内擁壁の改修工事に向けた課題や工事実施による長期休館の可能性から次期指定管理者期間の設定が困難であり、指定管理者の公募を行

えない状況にあること

や、現在の指定管理期間において、新型コロナウイルス感染症の感

染対策のため長期間にわたる使用制限、令和

4年の福島県沖地震被災でのあゆり温泉の長期休館など、指定管理者による3力年の事業

計画が制限され、自主

的な取組みが予定通り行えなかったことなどを勘案し、矢吹町公の施設に係る指定管理者の指定の手續きに関する条例第4条の規定に基づき、指定管理者の指定期間の変更。

主な質疑

安井 指定管理者制度とは住民サービスの向上と経費の削減等を図ることが目的だが間違いないか。

答 指定管理のサービスの向上、経費削減です。しかし、現在の物価高騰もあり経費削減が厳しい状況ではあります。

反対討論 青山委員

賛成討論 安井委員

議案第38号 矢吹町ふれあい農園の指定管理者の指定について

矢吹ふれあい農園につきましては、平成18年度から指定管理者制度を導入し、矢吹町公

の施設に係る指定管理者の指定の手續きに関する条例第2条のただし書きの規定に基づき、非公募により矢吹町健康センターの指定

管理者により施設運営を行ってきたところであり、この度、矢吹町健康センターの指定

管理者の指定の手續きに関する条例第4条の規定に基づき、指定管理者の指定期間の変更。

主な質疑

安井 指定管理者制度とは住民サービスの向上と経費の削減等を図ることが目的だが間違いないか。

答 指定管理のサービスの向上、経費削減です。しかし、現在の物価高騰もあり経費削減が厳しい状況ではあります。

反対討論 安井委員

賛成討論 富永委員

議案第36号について

は全委員異議なく原案の通り可決すべきものと決し、議案第37号、

38号については、委員

長採決となり、原案の

通り可決すべきものと

決しました。陳情第13

号は、全委員異議なく

採択されました。

審査の結果

議案第36号について

は全委員異議なく原案

の通り可決すべきもの

と決し、議案第37号、

38号については、委員

長採決となり、原案の

通り可決すべきものと

決しました。陳情第13

号は、全委員異議なく

採択されました。

審査の結果

議案第36号について

は全委員異議なく原案

の通り可決すべきもの

と決し、議案第37号、

38号については、委員

第一予算 特別委員会

◎高久美秋○三村正一
芳賀慎也 堀井茂人
加藤宏樹 青山英樹
畠永創造

議案第41号 令和5年
度矢吹町国民健康保険
特別会計補正予算(第
1号)

議案第42号 令和5年
度矢吹町介護保険特別
会計補正予算(第1
号)

議案第43号 令和5年
度矢吹町後期高齢者医
療特別会計補正予算
(第1号)

議案第44号 令和5年
度矢吹町水道事業会計
補正予算(第1号)

議案第45号 令和5年
度矢吹町下水道事業会
計補正予算(第2号)

審査の結果
全議案異議なく原案
の通り可決すべきもの
と決しました。

第二予算 特別委員会

◎関根貴将○藤井源喜
鈴木浩一 安井敬博
鈴木隆司 熊田 宏

議案第40号 令和5年
度矢吹町一般会計補正
予算(第4号)

主な質疑内容

《農業振興課》

鈴木隆 WCSとは何
か。

答 ホールクロップサ
イレージという、稲を
まとめてラッピングし
た飼料のことです。各
JAで取組んでおりま
す。

《保健福祉課》

藤井 防災無線でも流
れているが、ワクチン
は今、空きが多いとの
ことだが。

答 7回目の接種を終
えている方が3500
人を超えており、特に
高齢者の方の接種率が
非常に高い状況です。
若い方については希望
者のみの接種というこ
とで減ってきているこ
とから予約が空いてい
る状況です。

本会 議

《都市整備課》

藤井 大池公園の街灯
の修繕とのことだが、
歩いていても暗く感じ
る。街灯増設の話は出
ているか。

答 増設については特
に要望はない。但し、
暗い、不点灯という箇
所があり修繕の要望は
頂いています。

《生涯学習課》

鈴木隆 子ども食堂へ
の補助金のところで、
ポプラカフェの話が
あったが、そこでは食
事も提供するのか。

答 子ども食堂とは別
で、お茶や飲み物を提
供しており、放課後に
親が帰って来るまで過
ごす場所として利用し
てもらい、食事の提供
はありません。

《審査の結果》

全議案異議なく原案
の通り可決すべきもの
と決しました。

賛否の分かれた議案
を記載します。

議案第39号 矢吹町屋
内外運動場の指定管理
者の指定について

【反対討論】

安井 文教施設や町民
の福祉向上、スポーツ
などによる体力向上、
健康維持に役立つ施設
は、指定管理期間を5
年ではなく3年に1回
ほどの短い期間の中
で検証を行う必要がある。

【賛成討論】

熊田 今回選定された
団体は2期6年の実績
があり、多くの子供達
の健全な成長とその家
族に絆の深まりをもた
らし、町全体にも良い
影響を与えている。優
秀なスタッフを継続し
て雇用するには指定管
理期間3年では短く、
最低でも5年は必要。
これまでの実績を見て
も何ら問題はない。

採決の結果、賛成多
数によりそれぞれ可決。

議案第37号 矢吹町健
康センターの指定管理
者の指定の一部変更に
ついて

議案第38号 矢吹町ふ
れあい農園の指定管理
者の指定の一部変更に
ついて

【反対討論】

安井 今回の指定管理
期間3年が令和6年3
月末に終了することに
伴い、再公募を行わ
ず、更に3年間の延長
を行うことで、6年間
に渡る指定期間が指定
されるということだ
が、3年の間でしっか
りと検証することが必
要である。

【賛成討論】

富永 町民にとっても
利用者にとっても欠
ことの出来ない安定
的、安心、継続的な
サービスが提供される
のであれば、この期間
延長は何ら問題はな
い。

【反対討論】

青山 費用対効果、そ
してマネジメントとい

う観点から見過ごすこ
とは出来ない事案であ
り、この3年という期
間の中で、しっかりと
議論を重ね、見直し、
改善をしていく機会が
延長されてしまうこ
と、また擁壁改修工事
期間中の補償の問題も
ある。

【賛成討論】

芳賀 現指定管理者が
健康センターを運営し
てきた2年11カ月の
間、コロナ禍における
233日もの利用制限
や令和4年3月の福島
県沖地震による長期営
業停止など、大きく経
営を妨げる不可抗力的
な事態があった。今
後、健康センターが魅
力ある施設としてさら
なるPRに努め、コロ
ナ禍以前の賑わいを取
り戻すことで利用者数
の増加や観光資源とし
ての運営を大いに期待
できる。

採決の結果、賛成多
数によりそれぞれ可決。

定例会のあらまし

第440回議会（12月）定例会議案 賛否表

○は賛成、×は反対、退席の場合は退、欠席は欠、議長裁決は議の表示

議案名	議決結果	芳賀慎也	関根貴将	高久美秋	藤井源喜	堀井成人	鈴木浩一	三村正一	安井敬博	加藤宏樹	鈴木隆司	青山英樹	熊田宏	富永創造	角田秀明	
議案 第35号 矢吹町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第36号 矢吹町道路線の認定について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第37号 矢吹町健康センターの指定管理者の指定の一部変更について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	議
議案 第38号 矢吹町ふれあい農園の指定管理者の指定の一部変更について	可決	○	○	欠	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○	○	議
議案 第39号 矢吹町屋内外運動場の指定管理者の指定について	可決	○	○	欠	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	議
議案 第40号 令和5年度矢吹町一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第41号 令和5年度矢吹町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第42号 令和5年度矢吹町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第43号 令和5年度矢吹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第44号 令和5年度矢吹町水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第45号 令和5年度矢吹町水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第46号 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第47号 矢吹町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第48号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第49号 矢吹町手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第50号 令和5年度矢吹町一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

定例会のあらまし

町政を問う

～一般質問～

8人登壇

12月定例会では8人の議員が登壇し一般質問を行いました。
次のページからは、要点をまとめて掲載しています。詳細は矢吹町のホームページでご覧になれます。

- ①芳賀 慎也 7ページ
 - 1. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの目的は
 - 2. コミュニティスクール、地域学校協働活動の活性化は
- ②関根 貴将 8ページ
 - 1. メタバース・web3.0による地方創生への取組みについて
 - 2. 国の経済対策に対する町の対応について
- ③藤井 源喜 9ページ
 - 1. 「ふるさと納税」赤字報道で財政に影響はないのか
 - 2. 窓口で部署名が掲示されていないことで支障はないか
- ④富永 創造 10ページ
 - 1. 矢吹町健康センターの方向性は
 - 2. ヤングケアラー支援推進の取り組みは
- ⑤堀井 成人 11ページ
 - 1. 阿武隈川上流治水対策の国直轄区間以外の現状は
 - 2. 阿由里川改修工事と河川計画策定の状況は
- ⑥青山 英樹 12ページ
 - 1. 違法行為を義務違反とする町に不信
 - 2. 遊水地の農地利用要望の経緯、地権者への税務申告配慮は
- ⑦三村 正一 13ページ
 - 1. 蛭田町政の公約達成状況について
 - 2. 職員の不祥事対策について
- ⑧安井 敬博 14ページ
 - 1. 職員の人員不足や休職時の対策強化を
 - 2. 小中学校での防災教育の強化を



スポーツ×デジタル

振興プロジェクトの目的は

答 スポーツを軸に人と町を育む場を創出

問 スポーツ×デジタル振興プロジェクトが開始されたが、本プロジェクトのビジョン、目的を伺う。

答 町長 矢吹町にしかない特徴を生み出し、誰もが楽しめる、町全体で新しい取組みを目指すという考えから、ビジョンを「誰もがそれぞれのカタチでスポーツや運動を楽しめる町として、多くの人が集まり賑わう町へ」、コンセプトを「スポーツや運動を軸に多様な交流が生まれ、人と町を育む場」

とし、「スポーツで繋がろう!」をスローガンとして事業構想案がまとまってきたところです。

問 今後どのような計画で進められていくのか。

答 町長 3か年で計画しており、1年目は事業構想策定、スポーツ科学を軸にしたソフト事業開発、機運醸成イベントの開催、ハード整備に向けた準備等、2年目はハード整備、スポーツコミッション等運営組織の構築、情報発信の強化等、3年目は本格始動として2年間の成果を踏まえながら、スポーツコミッションの自主運営に向けた各種支援事業を計画しております。

問 体力、運動能力の向上、ヘルスケアを掲げる本プロジェクトを推進することにより、子供の肥満解消、大人の成人病予防、高齢者のフレイル予防にも奇与されることが期待できるため、関係各課と連携しながら、本事業を進める計画はあるのか。

答 町長 特色ある取組や様々なスポーツイベントの開催により、スポーツや運動への意識が高まり、スポーツをする人も見る人も誰もが楽しめる、ココットを中心に町が賑わいに溢れ、子育て世代から高齢者まで誰もが健康で過ごしやすい町を目指し、本プロジェクトを推進して参ります。



はが しんや 議員
芳賀 慎也

町政を問う(一般質問)

コミュニティスクール、地域学校協働活動の活性化は

答 双方の連携を深めながら展開していきたい

問 コミュニティスクール(以下CS)、地域学校協働活動それぞれの活動の持つ意義、役割について伺う。

答 教育長 CSの目的は、学校運営に地域の声を積極的に生かし、学校と地域が目指す子供像を共有し、学校と地域住民が一体となって学校の運営に取り組み、学校の教育目標を達成するところにあります。

次に地域学校協働活動ですが、子供達の学びや成長を支えて頂いている学校教育ボランティアの皆様にご協力頂きながら、教職員だけでは難しい学習活動、読書活動支援として読み聞かせ、子供達の見守りなど地域と学校が協働して行う活動を実施しております。幅広い層の地域住民、団体等が参画する活動を繋ぐ体制が地域学校協働本部であります。



矢吹町地域学校協働本部発行資料より

問 CSと地域学校協働活動を活性化していくことで、いい学校を作ることに繋がっていくのではないか。

答 教育長 CSと地域学校協働活動は、それぞれが学校運営の両輪に例えられており、地域学校協働活動推進員が橋渡し役となり、それぞれが持つ役割を十分に機能させることで相乗効果が期待できる仕組みであり、今後両方の連携を深めながら展開して参ります。



せきね たかまさ
関根 貴将 議員

メタバース・Web3.0による 地方創生への取組みについて

答 地域発展の有効な手段の一つとして取り組んでいく

問 令和2年12月定例会の私の一般質問の中で「Tに特化した専門の課を創設すべきである」と提案させていただき、今年度から「企画・デジタル推進課」が新設されたわけですが、創設1年目で、スポーツ庁から優良自治体として、県内初の受賞となり、素晴らしい結果を出していただきましたが、さらなる飛躍を目指し、メタバース（仮想空間）を利用した地方創生への取組みに参入していき、地域の活性化や町の魅力を発信していくべきであると思うが、今後の見通しを伺う。

答 町長 本町では、現時点において、メタバースの具体的な導入、活用にはまだ至っておりませんが、まちづくりや地域活性化に向けてどのように活用していくか、今後の

取組みについて検討を進めているところであり、ります。

問 第4次産業革命ともいわれるWeb3.0（ブロックチェーン技術やNFTなど）を取り入れての住民サービス等が実施されている自治体もあります。矢吹町での活用事例の有無と今後の見解を伺う。

答 町長 現在、デジタル田園タウン構想事業に基づきまして、東京都の狛江市と連携しながら進めており、より便利で楽しい生活が送れるよう、住民サービスの向上を目指し、これらの技術を活用した取組みを進めてまいりたいと考えております。



町政を問う（一般質問）

国の経済対策に対する町の対応について

答 国から示される具体的な内容を

確認し、準備を進めて参ります

問 政府より、11月2日に閣議決定された「デジタル完全脱却のための総合経済対策」非課税の低所得世帯に各7万円の給付金を年内に実現するよう求められておりますが、1か月弱の期間で対応は可能かどうか伺う。

答 町長 年内の予算化及び早期の支給開始に向けた準備を進めているところであり、給付金の交付に当たっては、事務処理誤り等は絶対にあつてはならず、確実な給付が求められることから、どうしても相当の時間を要する作業となってしまうことも事実であります。

問 前回の3万円の給付では、約3か月ほど時間がかかったということですが、このようなときにこそ、マイナンバーカードと銀行口座を紐づけた方に関しては、プッシュアップ方式で給付金をいち早くお配りすることが出来るのではないかと考えますが、検討されているかどうか伺う。

答 総務課長 現段階では、どちらにしても確認作業等で時間を要するため、安全で確実な実施方式である確認書方式をとっております。体制が整った時に初めて完全なプッシュアップ方式が出来るものと考えております。

問 各自治体へ配分される「重点支援地方交付金」の使い道は、過去に評判のよかったプレミアム商品券などの活用等が考えられますが、現時点で本町としての有効活用などがあれば伺います。

答 町長 本町での効果的な活用方法について検討を進めているところであり、プレミアム商品券事業の実施につきましては、前向きに検討をさせていただきます。



「ふるさと納税」赤字報道で

財政に影響はないのか

答 交付税での補填は

75%だが大きな影響はない

問 今年度の目標、件数や寄付額はどのように分析しているのか。

答 町長 年間目標を3千万円と設定し10月末時点で301件、寄付額は399万円達成率13・3%です。人気の返礼品は料理酒、ゴルフ宿泊パック、米等となっております。

問 10月2日付け新聞によると令和4年度のふるさと納税制度で県内11市町村が「赤字」と報道されている。当町でも寄付額と控除額

の差が△408万円となるが、財政に影響はないのか。

答 町長 地方交付税で補填されるのは75%に当たる額で残りは補填されませんが、寄附受入額と比較で町の財政に大きな影響はないものと考えています。

問 寄付額を増やすためにどのように取り組んでいるのか。

答 町長 さとふる・ふるさとチョイス・楽天・aupay・セゾンとJREMAILを

開設しています。町の返礼品は約60商品を登録し、今年度は18商品を追加し、さらに約50商品を予定しています。

問 黒字の市町村の情報分析はあるか。

答 商工観光課長 県北は季節のフルーツ、磐梯町には高額なカメラレンズ、棚倉町にはペット用トイレシートなどの製造工場があり返礼品として人気となっております。



ふじい げんき
藤井 源喜 議員

町政を問う(一般質問)

窓口部署名が掲示されていないことで支障はないか

答 総合窓口導入から概ね評価をいただいている

問 窓口のワンストップ化による町民サービスはどのように評価しているのか。

答 町長 平成28年の総合窓口を導入し、約70の受付・申請業務を取り扱っています。複数の用件がある利用者の方が、一度の受付で用事を済ませられサービス向上につながりため実施したものです。利用者からは概ね評価をいただいているものと認識しています。マイナンバーカードの普及や外国人労働者の増加、法令等の改正など窓口業務を取り巻く環境は大きく変化しています。

問 部署名を掲示して欲しいといった要望は町民からないのか。

答 町長 総合窓口導入時には、部署名の掲示について要望される方もおられました。総合窓口の改善につきましては、7月に役

場各課の担当者が出席し開催した総合窓口会議において、問題点の洗い出しを行いました。



問 窓口は町民と職員の前線であることから、職場の声を聞き取り改善に活かされているか。

答 町長 現在は広範囲の業務を扱っているため、専門性の高い対応が必要であり、職員からの意見等について面談や聞き取り、会議等を行って取り組んでいます。



とみなが 富永 創造 議員

矢吹町健康センターの方向性は

答 町民の健康増進と

魅力ある施設運営を図る

問 健康センターの課題と方向性についての見解をたずねる。

答 町長 地震やコロナの流行で、令和4年度は7万4千886名と減少後、家族連れでの利用者が増えるなど賑わいを取り戻しつつあります。課題は施設の老朽化、光熱費の上昇、あゆり温泉の擁壁改修工事があります。方向性としては町民の健康増進、老人福祉の向上という重要な役割があり、指定管理者による町民の健康増進、観光資源としての魅力ある施設運営を図ります。

基本設計を行っていません。関係機関と協議を進め、令和8年度に実施設計を、令和9年度に改修工事を完了する予定で、現在の指定期間を変更する議案を本定例会に上程したところです。

問 指定管理期間の延長を求める理由は。

答 町長 現指定管理者は、営業期間中、コロナや地震により平常営業ができなかったが、常に利用者目線に立った営業を心がけ、一定の利用者数があり、あゆり温泉を長期間休館する擁壁改修工事を控え、指定期間の設定が難しい。次期指定管理者の選考方法において、指定管理期間の延長の検討が必要との結果を踏まえて、期間の変更が最良であると判断しました。

問 ヤングケアラーの実態を独自調査する考えはないか。

答 教育長 県が令和4年、子どもの生活実態に関するアンケート調査を小学5年生から高校3年生までを対象に実施し、町内の対象者の、約6・2%が世話をしている家族がいると答え、勉強や自分やりたいことができないうことができないヤングケアラーが少なからずいることがわかり、策定中の第7次矢吹町まちづくり総合計画の子育て支援事業で実態把握に努めます。

問 教員などの関係者への周知や理解促進の取り組みはなされているのか。

ヤングケアラー支援推進の取り組みは

答 支援体制の構築を図る

問 教育長 こども家庭庁が作成した支援マニュアルを活用し、教員等への理解促進及び支援に取り組みSNS相談窓口やリーフレットを広報やホームページに掲載するなど、周知・啓発に努めます。

問 マニュアルで支援策を示すことはできないか。

答 教育長 国が示すヤングケアラー支援マニュアルを県がホームページに掲載し、各市町村へ広く提供しています。町では今後、地域の実情に応じた支援計画、支援マニュアルを早期作成する予定です。



阿武隈川上流治水対策の

国直轄区間以外の現状は

答 地元行政区からの要望を受け

さらなる対策を要望している

問 阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクトの、国直轄区間以外、治水対策の状況について、町の考えを伺う。

答 町長 うつくしま

大橋上流の治水対策について、令和3年に三城目横石行政区より、阿武隈川から農業排水路への逆流防止や、河川堤防改修及び強化について、さらに令和5年には、明新行政区より、阿武隈川治水工事の要望を受け、県建設事務所へ進達してお

り、地域のさらなる河川整備と治水対策を進めるよう働きかけています。

また、阿武隈川上流改修促進期成同盟会においても、谷中地区から明新地区までの堤防の整備、遊水地群整備と併せ計画的な事業推進を図るよう、着実な実施体制の構築を要望しています。



令和元年台風19号で冠水した農地

阿由里川改修工事と河川計画策定の状況は

答 国・県・協議会と連携し事業を推進する

問 阿由里川の一級河川指定に伴う改修工事及び河川計画策定のスケジュールはどのような状況なのか。

答 町長 町及び三城目地区遊水地対策協議会から、国・県に強く要望した結果、阿武隈川合流部から荒地までの約2・8キロメートルの区間が、令和5年9月4日の官報告示により一級河川へ指定されました。

遊水地群整備と併せて、住民の安全安心のため、国・県、さらには三城目地区遊水地対策協議会と連携し、事業を推進してまいります。

問 遊水地整備後の利活用はどうするのか。

答 町長 地域の意向を十分に踏まえながら、持続可能な利活用の方法を検討し、特に心配する声が多い平常時の維持管理、遊水地の機能保全をした上で、景観に配慮した適切な維持管理を行うよう、国へ働きかけを行います。



決壊した阿由里川の堤防



ほりい 堀井 しげと 成人 議員



あおやま ひでき
青山 英樹 議員

違法行為を義務違反とする町に不信

答 意図があつての不正を働いたものではなく
不作為という状態が長く続いた結果

問 職員の7年8か月に及び住居手当約245万円の不適正受給について、情報開示請求を行ったが、不開示となった理由は。

答 町長 公にすることにより率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれ、不当に町民等の間に混乱を生じさせるおそれ又は特定のものに不当に利益を与え、若しくは不利益を及ぼすおそれのあるものに該当することから聞き取り調査の請求を開示としました。
問 町民からの意見等は把握しているか。
答 町長 報道機関への情報提供後に数社から内容確認取材等がありました。町民からの意見等は特段なかったと認識しています。
問 約245万円の不適正受給に対する利息等の徴収はあつたのか。
答 総務課長 利息の

町政を問う（一般質問）

納付はありません。
問 今回の事案は、地方公務員法第29条第1項に於ける違反、違法行為にあたる。それを義務違反との位置づけで良いのか。
答 総務課長 意図して不正を働いたのではなく、不作為という状態が長く続いた結果からです。
問 同法第1号服務に於いて定めた町の条例、規則その他の規定に違反した場合の規定に基づくものによる懲戒処分として義務違反ではなく、違法行為と考える。所属部署、職種及び役職名、年齢及び性別が公表内容だが、なぜ明かされないのか。
答 総務課長 本来であれば公表されるが、故意ではないので、事案の重さを鑑み懲戒処分とした辺も考慮し、個人情報に推測されないように公表しました。

遊水地の農地利用要望の経緯、 地権者への税務申告配慮は

答 三城目地区での個別相談会など配慮する

問 遊水地整備事業で遊水地を農業用地として利用できるよう、3町村長が国に要望書を提出したとの報道があつたが、経緯の説明を。
答 町長 3町村での説明会や用地交渉の中で、遊水地内を農地として利用したい等と、本町でも直接耕作者から相談されました。
問 国交省の対応と今後の動向はどうか。
答 町長 国から通知が発出され、水田等の農地占有が可能となりましたが、2〜3mも掘削して農地利用できるか、また農地利用の占有条件など課題があり、国が農業分野の研究機関に依頼し調査、検討を行っています。

問 税務に関し、遊水地用地として国に収用される地権者の方々は高齢者が多く、確定申告で白河市に出向いていくことは容易でない。地権者向けの確定申告の個別的な指導と助言、町内での申告会場の設置等、地権者への配慮は出来ないか。
答 町長 用地買収に係る所得税申告に向け、分からない事や準備する物などを相談で

きるよう、1月下旬から2月上旬頃に三城目地区で個別相談の機会を設けます。また確定申告を特別枠で設け、2月より事前予約制で受け付けし、相談時間を60分と拡大し、例年申告されている所得に加え、用地等が買収となつて補償金等に係る譲渡所得の申告受付についても対応していきます。



被災者支援（イメージ）

その他の質問事項
・指定管理者制度などの委託業務でのマネジメントについて、その費用対効果等について

蛭田町政の公約達成状況について

〔答〕 着実に成果は上げている

問 4年前の町長選挙の際に、町民の皆様に表示されたマニフェストについて、どのように執行がなされ、どのような実現状況にあるのかを伺う。

答 町長 待機児童の問題については、翌年にはゼロを達成し、現在においても3年連続でゼロです。行き活きたクシー利用料金助成事業は、対象年齢や回数を拡大するなど改善を図りました。また、高齢化社会に向けて、コミュニティバスの実証実験運行にも取り組



みました。矢吹地区、中畑地区、三神地区で計4回町政懇談会を開催しました。積極的に企業誘致に取り組み、魅力のあるまちづくりをPRし、新規の企業立地や工場新設など12件あり、企業活動の活性化や雇用の拡大が実現できるようサポートしました。財政健全化の取り組みとして、旧総合運動公園予定の購入時の借入額の一括繰上償還を行い、その浮いた利息分で給食費の半額補助を行いました。道の駅事業や一般社団法人まちづくり矢吹等の事業の凍結や解散を行いました。他にも町民本位の町づくりに取り組み、成果は上げているのではないかと



みむら まさいち 三村 正一 議員

と思います。さらなる発展につながるよう継続的に取り組み、町政を進めてまいります。問 やり残した部分があるとするれば、今後の取り組みについて伺う。

答 町長 給食費の全額補助については、厳しい財政状況において、継続的となると、そう簡単ではないと思っておりますが、やる意欲は十分あります。

職員の不祥事対策について

〔答〕 役場全体の綱紀粛正に努める

問 矢吹町の不祥事件が公表され、町民の皆様からも綱紀粛正を望む声が多く出ています。この4年間の不祥事件の内容、再発防止対策、賞罰処分状況を伺う。

答 町長 昨年度は2件あり、1件目は令和2年度に交付すべき補助金4万3200円未交付により、団体活動に支障を与えたため、当該職員を戒告とし、上司職員を訓告としました。2件目は、3件の工事代金232万6500円の未払い金が発覚し、当該職員を減給とし、上司職員を訓告としました。令和5年度においては3件の不適切事案があり、1件目は住宅用地の固定資産税を軽減する特例措置の適用漏れが8件あり、この間の過徴収分に還付加算金を加算した302万6000円については全額返還させていただき、原因者については既に退職しており懲戒処分は出来ないものです。2件目は、職員が住居手当の届け出を失念し、不適正に受給していたため、当該職員を懲戒処分とし、上司職員を口頭注意としました。3件目は消防ポンプ車両等4台が車検が切れた状態で運行していた事案で、賞罰処分に関しましては、現在調査を進めてます。これらの不適切事案について、大変ご心配とご迷惑をお掛け致しましたことを改めてお詫びし、矢吹町役場全体の綱紀粛正に努めてまいります。

その他の質問事項

- 令和6年度の事業計画について
- 矢吹町スポーツセンターのプロジェクトについて

職員の人員不足や 休職時の対策強化を



やすい たかひろ
安井 敬博 議員

答 全庁的な「横断的協力体制」により
バックアップする

問 職員の中途退職や休職者の増加等、人員不足による過重労働がミスや退職者、休職者の増加につながっているのではないかと思うが、定員適正化計画の採用計画値と実績はどうなっているのか。

答 町長 令和2年度目標値154名に対して153名、令和3年度155名に対し151名、令和4年度156名に対して155名、令和5年度160名に対し158名でおおむね計画通りの推移です。

問 160名の役場で2名少ないのは、大きな負担がかかっていると思うがどうか。

答 総務課長 募集をかけても、なかなか人材が確保できないという状況ですが、本年10月には2名中途採用し、4月1日採用試験も同時に行っていて、事情が許せば早めの入

町政を問う（一般質問）

小中学校での防災教育の強化を

答 保護者、地域と連携した

防災教育を実施している



庁、採用というのも検討しているところですが、

問 人口減少に伴い役場職員に対する応募も自治体間の競争になっていることもあると思うが、どう考えるか。

答 総務課長 矢吹町のPR、公務員の魅力発信というところは続けたいと考えています。

問 大阪府寝屋川市では募集18名に対し971名の応募があった。参考にしてはどうか。

答 総務課長 先進事例等を参考に、研究を進めたいと思います。

問 東日本大震災をはじめとする地震災害や豪雨災害の経験の継承と、自然災害や交通災害について自ら考え、災害時や平常時においても命と安全を確保する行動のできる児童生徒を育成するため、小中学校における防災教育の向上を図ることが重要であり、学校での学びが家庭への波及効果も見込めるが、当町の小中学校では、どのような防災教育を行っているのか。

答 教育長 震災の年に誕生した子供たちが現在、小学校第6学年となり、中学生でも当時の記憶や経験は少ない状況にあり、小中学校では震災のあった3月11日に合わせ、特別

の教科道徳において福島読み物資料を活用したり、全校集会を開いたりして震災当時の様子や人々の思いについて学んでいます。また、避難訓練を年間2から3回実施し、予告なしの訓練など、児童生徒の実態に応じた訓練等を実施しております。

問 神奈川県逗子市の小学校ではプログラミング教育と融合し、タブレット端末で利用できる防災マップを児童自ら作っている等、NHKの「チャレンジャーBOSAーアクション」という番組で紹介されているが、当町でも参考にしては如何か。



答 教育振興課長 デジタルを活用した防災教育ということで、こうしたツールを活用した安全教育に努めます。

その他の質問事項
・将来の人口減少を見据えたDXを活用した役場業務改革について

第17回子ども議会開催

矢吹町教育委員会主催、町および町議会の協力で、議場において矢吹町子ども議会が開催されました。当日は町内4小学校の6年生を代表して選ばれた、20人の子ども議員から5名の子ども議員が一般質問を行いました。みなさん緊張しながらも、堂々と蛭田町長らに質問を行っていました。

また、質問者以外の児童のみなさんも、真剣に質疑を傍聴していました。



前半議長 ^{つむらや} 円谷 ^{なる} 成 (三神小)



後半議長 ^{さとう} 佐藤 ^{ゆうと} 優斗 (善郷小)



子ども議会一般質問



^{かとう} 加藤 ^{ゆうな} 悠菜 (三神小)

暑い夏でも、運動ができるように町内の中学校の体育館に冷房をつけていただけませんか。



^{たか} 高 ^{まつり} 久 凛 (中畑小)

万が一災害発生時に子どもでも分かる地図などがあればいいなと思うのですが、作っていただくことは可能でしょうか。



^{さき} 佐々木 ^{らい} 莉 (善郷小)

私達は来年度から中学生になり、自転車で登下校するようになります。交通安全や防犯面から、安心して暮ら

しているように、さらに改善していこうという町としての計画はあるのでしょうか。



^{ほし} 星 ^{なみ} の 望乃 (善郷小)

若者がずっと住み続けたいと思うような町にするための工夫や開発の計画はあるのでしょうか。



^{ほん} 本 ^か 宮 奏翔 (矢吹小)

歩行者の信号機を増やすなど安全に歩行できる仕組み、路面がこぼこになっていたり、ところを直したり、交通安全指導の方を増やしたり、くらしやすい矢吹町にするためにも検討していただけないでしょうか。

町村議会議員研修会

10月23日、郡山市のビックパレットふくしまにおいて、東京大学大学院法学政治学研究科教授、金井利之氏を講師に「議会改革・地方自治関係について」、またジャーナリストの岩田公雄氏のこれからの政局・政治の行方について研修をしました。



^{かな} 井 ^{としゆき} 利之 氏



^{いわ} 田 ^{きみお} 公雄 氏

よんじ

矢吹町へ

山形県小国町議会 総務厚生常任委員会

矢吹町複合施設の整備概要について、施設運営等を研修。



北海道余市町議会 議会運営委員会

議会広報編集活動、議会だよりの編集から発行までの編集過程などを研修。



みんなのひろば



二十歳を祝う集い実行委員長

佐藤 弥人さん
さとう ひろと



お世話になった地域の皆様に見守られながら、大好きな友人たちと共に「二十歳」という節目を迎えられたことを大変嬉しく思います。

中学校卒業以来に会った友人、いつも会っている友人、改造車で式典に来た友人、様々な人たちと会い、私はみんな元気で笑顔でそれぞれの道に進み、それぞれに生きていることにとっても嬉しく感じました。私は福島大学で教員を目指し日々勉強に励んでおります。友人は皆、県外に進学や就職などして会える機会は大幅に減り寂しく思うことも多々あります。そんな中で上手いかず、足が止まった時「あいつらと喋りたいな」と友人の大切さを思い知りました。「私の決意」を発表した大野翔真の言葉にあったように、大人になるにつれて褒められることは少なくなりますが、私は二十歳を迎えた皆さんに、自分を褒めて、自分を讃えてほしいです。そしてまたみんなと会えた時は褒めてあげてください。その一言であなたの大好きな友人を救えます。そして、ふと会いたくなるその人が自分が一番の理解者です。

おまえら全員 Big Love !!

二十歳を祝う集い



読者の声

(前号に対して)

表紙・写真

- 大人も子供もどの写真も笑いの表情が鮮明であった。
- 「子供は宝」シリーズ化してみてはどうか？
- 定例会のあらまし
- 議案第31号についてどういった経緯で提出され、どのような内容であったか知りたかった。

一般質問

- 「〜について」という表現が多いが、別の表現はないものか？
- 質問の内容に沿った表が掲載されており、分かりやすかった。

自由記入欄

- 認定第1号の様に、否決や不認定となった審議項目は、その後どういった措置が為されるか等を詳しく解説して欲しい。

全体評価	A	B	C	D	E
ポイント	3	9	18	3	0

次回議会のご案内

3月定例会

3月1日(金)

午後1時30分開会

●12月議会(第440回)の傍聴者は計8名でした。ありがとうございました。

一般質問

3月4日(月)・5日(火)

午前10時予定

過去の会議録の検索は

矢吹町議会会議録検索システム

または

矢吹町議会本会議録画配信システム QRコード



編集後記

【謹賀新年】〜甲辰〜

新人でありながら、広報委員長を務めさせていただきましました。至らぬ点多々ありましたが、今号で最後の編集となります。

広報モニターの方をはじめご協力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。有難うございました。

さて、二元代表制の一翼を担う町議会議員の改選が三月に行われます。町民の多幸を第一と考え、将来に渡り輝き続けるまちづくりに貢献していこうとする「気概と信念」を持った方が選挙に立つことを願うとともに、矢吹町議会の更なる飛躍を祈念します。

(文責 関根 貴将)

議会広報編集委員会

委員長	関根 貴将
副委員長	藤井 源喜
委員	芳賀 慎也
委員	高久 美秋
委員	鈴木 浩一
委員	安井 敬博